

## 第4学年 体育科学習指導案

### 1. 単元名 「走り高跳び」(6時間単元)〈組み合わせ単元〉

### 2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

#### こんな子どもを

- これまでの体育学習で、友だちと協力し、進んで学習に取り組むことができている。アンケートの結果から、体育学習について、89%の子どもが、運動の特性に触れる理由で、「好き」と答えている。「きらい」と答えた子どもの理由としては、記録の停滞や友だち関係があった。
- これまでの学習で、めあてを意識して学習を進めることができてきた。しかし、自分の課題解決のために、技能のポイントを意識したり、場をつくりかえたりして学習することが、まだまだ十分できていないところがあった。

#### こんな教材で

- 走り高跳びの一連の動きは、普段の生活の中では経験する動きではないため、容易ではない。しかし、助走して踏み切って自分の体がふわっと上に跳び上がった時の感覚やバーを跳び越せたときの感覚がとても心地よい運動である。
  - バーに当たる恐怖心を取り除くため、ゴムを代用したり、安心・安全に着地するために、着地地点にマットを敷いたりするなど、子どもたちの実態に応じた場を設定できる。
  - 場は、同心円状に(正六角形)6セットでつくる。これにより、一人ひとりの運動量を保障すること、全体の活動の様子がお互いに分かり、臨場感も感じることもできる。
- 
- 体づくり運動は、走り高跳びの基本的な動の関連として、助走・ふみきり・空中姿勢・着地に関連する運動を仕組む。
  - 単調な運動の反復にならないように、回数や人数、ルールの工夫をさせる。

#### こんな支援で

- つかむ・きづく段階では、自分の助走のポイント(利き足・方向・歩数)を見つけさせ、短い助走で調子よく踏み切って跳ぶことを楽しませる。ここでは、簡単なルールで、跳び方に慣れながら走り高跳びを楽しませる。
  - ふかめる段階では、個人のめやすの記録をめざして練習や場を工夫して、記録に挑戦させる。ここでは、自分に合った助走の仕方と跳び方のポイントを意識して跳ばせる。そのために、跳び方のポイントの掲示物を活用させたり、同じ場での友だち同士のポイントに対するアドバイスをさせたりする。
  - ふりかえる段階では、めざす子どもの姿に沿って、4つの視点で単元全体をふり返らせることで、自分の学びを評価させる。
- 
- 体づくり運動は、毎時、2つの運動を各5分ずつ行わせる。めあて2では、子どもたちが選択して運動を行う。(主なねらい)
    - ・「ワンツータッチ」(助走、ふみきり)
    - ・「ハイキック」(ふり上げ足)
    - ・「ゴムジャンプ」(空中姿勢、抜き足)
    - ・「ケンケンずもう」(利き足)

#### めざす子どもの姿

- 3歩か5歩の助走から調子よくふみきって高く跳ぶことを楽しむ子ども
- 自分の課題について、めあてをもち、友だちと一っしょに解決しようとする子ども
- 友だちと準備や片付けを協力して行い、意欲的に走り高跳びに取り組もうとする子ども
- 自分の課題解決のために、練習の仕方を工夫することを楽しむ子ども

### 3. 指導目標

#### 指導目標

- 走り幅跳びに進んで取り組み、決まりを守り、意欲的に運動することができるようにする。(態度)
- 自分の課題解決のために、めあてをもち、練習の仕方を工夫することができるようにする。(思考・判断)
- 3歩か5歩のリズムにのった助走から、調子よくふみきって高く跳ぶことができるようにする。(技能)

#### 4. 本時学習

(1) 本時 6月16日(木) 公開授業 I 運動場

#### (2) 本時の目標

- 体づくり運動において、選択した運動をねらいに沿って楽しむことができる。
- きまりを守って意欲的に走り高跳びを楽しむことができる。
- 3歩か5歩の助走から調子よくふみきって高く跳ぶことができる。

#### (3) 準備

掲示物(単元計画, 1時間の流れ, 跳び方のポイント, 心と体のスイッチオンタイムの運動内容), スタンド, バー, マット, 踏み切り板, ゴム, 鈴, タイマー, フリスビー, 学習ノート, 筆記用具。

#### 5. 展開(5/6)

段階	学習活動と内容	学習活動に即した支援
つかむ・きく	1. 学習の準備をする。 ○ 協力して安全な場づくりをする。	※ 準備をいっしょにしながら, 場の安全を確認させる。
	2. 心と体のスイッチオンタイム  ○前時までの4つの運動から2つ選択して楽しむ。(各5分) <b>【運動のねらい】</b> ケンケンずもう 自分の利き足を意識する。 ゴムジャンプ 空中姿勢で, 抜き足の動きを意識する。 ハイキック 利き足を意識しながら, ふり上げ足を高くあげる。 ワンツータッチ 助走から片足で踏み切り, 跳び上がる。  ※ 運動のねらいからそれないように, 個人に応じて工夫して運動させる。 ※ 運動を工夫したことを取り上げ, 次時への意欲を持たせる。	
ふかめる	3. めあてを確認して, 走り高跳びを楽しむ。  <b>めあて2</b> <b>練習を工夫し, 記録に挑戦して走り高跳びを楽しもう。</b>	
	○ 自分に合った跳び方で, 記録に挑戦する。 ・ 自分にあつた助走で行う。 ・ 同じ場の仲間と, 跳び方のポイントについてアドバイスし合う。	※ 3歩か5歩のリズムののつた助走を意識するように声をかける。  ※ 跳び方のポイントを意識させ, アドバイスの視点を明確にするよう助言する。  ※ 友だちの跳び方の良さにも目を向けさせる。
ふりかえる	4. 学習のまとめをし, 後片付けをする。 ○ 学習ノートで本時の学習をふり返る。 ○ 気づいたことや考えたことを交流し, 次時への意欲をもつ。 ○ 協力して, 安全に後片付けをする。	※ 今日のめあてについて学習ノートに沿って, 振り返らせる。 ※ 視点に沿ったふり返りをさせ, 意欲を持たせる。(跳び方のポイントの高まり) ※ いっしょに片付けをしながら, 安全を確認させる。

